**第３０回登別市市民自治推進委員会　ぬくもり部会議事録**

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和３年７月２日（水）１７時００分～ |
| 開催場所 | 登別市役所本庁舎　２階　第１委員会室 |
| 出席者 | （部 会 長）田渕　純勝（副部会長）雨洗　康江（部 会 員）　今　順子、佐藤　画美（庁内委員）平田　雅樹、安部　直也（市職員）沼田　久人、塚崎　翔太（事 務 局）大越　智輝、佐々木　健、相馬　杏 |
| 欠席者 | （部 会 員）鎌田　和子 |
| 議題 | 登別市地域福祉計画について |

【登別市地域福祉計画について】

・前回までの部会では、健康というテーマで、虐待防止について勉強会を行った。

・「登別市地域福祉計画」は、登別市社会福祉協議会の「きずな計画」と並行して５年の計画期間として行われてきた。どちらも福祉に関わるので、互いに情報交換が可能であり、計画や意見を出し合い、フィードバックをするような体制を取りたいと考えている。

○第二期計画について

・「登別市地域福祉計画」は平成２８年度から令和２年度までの計画としていたが、

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、計画期間を１年延長した。

・令和２年１０月１３日、令和４年度からの第三期計画に向けて、検討委員会を設置。

・令和２年１０月に第二期計画の一部評価を行い、達成されていない目標については、

第三期計画に盛り込んでいく考えである。

・第三期計画策定状況について、「登別市地域福祉計画」は「登別市ぬくもりある福祉

基本条例」の理念のもとに定めているもので、社会福祉法第１０７条の社会福祉計

画である。

・「登別市まちづくり基本条例」の理念に基づく「登別市総合計画」を上位計画とする

　保健福祉分野の基本計画として、各個別計画に共通する理念を相互に関連づける計

画とする。社会福祉協議会が発表する実践計画の「きずな計画」との位置づけを明

記したうえで連携し、登別市地域福祉計画を推進するための計画にしていきたいと

考えている。

・第三期計画の骨子については、大きく６項目に分けてこれを柱として計画を立てる。

・策定の背景について、時代背景や社会福祉の制度改正を踏まえアンケートを実施し、

その結果から登別市の状況把握、分析を行い、前回の計画の取組成果を踏まえたう

えで、令和４年度からの社会福祉政策をどのように展開していくかの計画になると

想定。

・第二期計画からの変更点については、取組の柱に「新型コロナウイルス感染症対策」、

「再犯防止に関する取組」を追加。社会福祉協議会の取組を明記する。きずなマー

クを付けるなどして、きずな計画と連携したものであると分かりやすく記載する。

・第二期計画で文章で記載したものを表形式に変更し、わかりやすい形で記載。

・アンケートの人数を１，５００名から３，０００名に変更。

・第三期計画については、「登別市地域福祉計画」の促進のため、きずな計画との整合

性を図る必要がある。情報共有、進捗状況やアンケート項目のすりあわせなど、連

絡をとりながら進めていく。また、社会福祉法人やＮＰＯ法人、町内会等の活動と

の具体的な連携のところにふれながら進める。

・現在の進捗状況について、５月に計画全体のイメージを検討、６月には庁内検討委

員会を立ち上げ書面で第一回目を開催。第二回目も書面で現在意見の集約中。

・今後について、７月にアンケートの実施。検討委員の一般公募も行う。１１月にパ

ブリックコメントを実施。

・検討委員会は全体で６回を想定。策定は今年度中に行い、令和４年４月の公表を目

指している。

【質疑】

（部会員）→（市）

●第二期の５年間の総括評価の進捗について

→具体的な内容は今後行う予定。

●一年一年の評価をしっかり行う必要があるのでは。たくさんの団体が関わる計画

のため、どのような計画があって、それを実施し、評価することを認識する必要

がある。

→令和２年の１０月に庁内で仮評価を行っている。総括評価は今後行う予定。

→この総括評価を行うにあたって、一度評価をして、検討委員会のときにお見せ

し、最終評価を行う手順で進めようと考えている。

【次回について】

●日程：８月ごろ